

赤ちゃんとの暮らし応援「テラスココン」 「始まったばかりの赤ちゃんとの暮らし応援」事業

事業費 105,577円
(補助金額 89,676円)

1 事業目的

社会の急速な変化に伴う母子や家族を取り巻く課題は多岐に渡る。その中でも母子の孤立、お口の機能発達をはじめとした運動発達、アタッチメントの形成、大規模地震災害などの防災意識への迅速な取組が求められている。こどもたちが健やかで幸せに成長できるよう地域の専門家が連携し、子育てが始まったばかりの世代を対象に、こどもにとって最もよいことを一緒に考え体験する機会を提供し、孤立を防ぎ、育児不安の軽減、アタッチメントや発達を支援することを目的とする。この、子育て世代と繋がるコミュニティをいつでも声掛け合える関係作りや、現状・課題・喜びを共有する機会とし、安心して生み育てることのできる社会を目指す。

2 実施内容

○マミーカフェ、BABY PARTY

・1歳半頃までの親子を中心とした子育て支援(講座、体験会、交流会、育児相談など)を開催した。主なテーマは、絵本と言葉の発達、おもちゃと目と手と口の運動機能発達、お口の発達と離乳食、窒息と救命救急、産後の身体を守るケア。安心できる場所での表情や行動の違いを一緒に学んだ。

○防災マタニティカフェ

・妊娠中の家族を対象に、妊娠期、産後から生後4ヶ月頃までの赤ちゃんとの暮らしをイメージし出産準備としてお世話を体験した。また、防災の視点に立ち、安心ある暮らしについて一緒に考え、そのための知識を学び、技術を体験した。



3 成果と課題

- 本事業の実施により、一緒に過ごすなかで見えてくるアタッチメント、安心感がこどもに与える影響を実際に体感され、育児の不安軽減、親の自己肯定感、発達促進につながった。
- 実施後のアンケートの結果、「気になっていることを相談でき、ほっとした。」「わが子のできることに目がいくようになった。」「発達について今大切にしたいことが見えてきて安心した」などの声が寄せられた。
- 今後は、防災を意識した出産準備教育の提供を充実させ、赤ちゃんとの暮らしを、より安心してスタートできるよう活動を継続していく予定。